

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書

団体名	あらぐさこども食堂
-----	-----------



取組の名称	あらぐさこども食堂		
実施場所	あらぐさ教室		
対象地域	武蔵中原駅周辺地域		
対象地域の特色・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅に近く通勤通学しやすいことから核家族共働き世帯が多い。放課後は校門前に何社もの習い事送迎車が待機している程で、こどもも大人も忙しい生活スタイルで、地域や人とのかかわりが薄い状況。 ・ 風紀が良い安心安全な地域。 		
取組の趣旨・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活スタイルの様々な事情により、一人もしくはこどもだけで食事をしているケースが増えている。その食事内容は栄養バランスに欠けた食べ物であると想像つく。食卓を囲み、おしゃべりを交わしながら食べることで、食事が美味しい楽しいと感じつつ、人とつながりあって成長し、生きる力の構築の一助となることと、居場所になることを目指す。 ・ こどもからその保護者ともつながり、子育てを共有し楽しめるようにする。 		
実施内容・実施スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月第4火曜日の18時～20時に食堂を開く。 ・ 第2火曜日には、バランスよい栄養価のある季節を感じられるメニューを管理栄養士を中心にボランティアスタッフと立案する。 		
参加者の年代	子育て世代 単身高齢者	定員 (1回あたり)	20名

実施頻度	月 1 回	活動日数 (年間)	12日
スタッフ体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ あらぐさ教室関係者 4 名 ・ 栄養士、調理士 ・ 調理ボランティア 		
連携する団体・ 連携の手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ かわさき市民活動センターにチラシを置いてもらう ・ 近隣保育園、こども文化センター、わくわくプラザにお知らせ訪問 ・ ホットスペースとの交流 ・ 町内会住民との交流 		
取組実施により 見込まれた効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々忙しく過ごしている親子の関係が、月 1 日でもゆったりと会話したり遊んだりできる。 ・ 参加者の交流から、家では見られない我が子の姿やほかの子の姿を見て新鮮に感じ喜んだり、安心や納得が得られる。 ・ おしゃべりから子育て情報や子育てポイントが得られる。 ・ 食のバランスや料理方法を見直すきっかけになる。 ・ 退職した者にとっても一役を担える喜び励みとなる。 ・ 世代を超えた交流が、心を耕し豊かにしていく。 ・ 掲示板を見た近隣の方々より、提供品を頻繁にいただくようになり、子ども食堂の認識や広がりを感じられる。 		

